

2017年6月13日
知財コンサルティングセンター

2017年度 第1回 知財コンサルティングセンター(PCIP)勉強会

- 【テーマ】 新製品開発リーダーのための
「中小ベンチャー企業向け実践的技術経営支援」
- 【講師】 (一社)技術知財経営支援センター・副代表理事
佐々木 久美 氏
- 【開催日時】 2017年7月19日(水) 18:30～20:00
- 【場 所】 (公社)日本技術士会 C,D 会議室(葺手第2ビル5階)
- 地図 <http://www.engineer.or.jp/images/maptokyo.bmp>
地下鉄日比谷線「神谷町」駅より徒歩 5 分
- 【対 象】 日本技術士会 知財コンサルティングセンター会員 他
- 【参加費】 無料
- 【申込方法】 所属、氏名、メールアドレスを記載していただき、下記のメール宛てにご連絡ください。
- 【連絡先】 日本技術士会 知財コンサルティングセンター
安藤(pcip.seminar@gmail.com)
- 【申込み〆切】 7月18日(火)

【概要】

「技術経営」とは技術を基盤として事業を行う企業や組織が、持続的発展のために、技術が持つ可能性を見極めて事業に結びつけ、経済的価値を創造していくマネジメント」と定義されております。

売れる新製品づくりを実践するために、持っている技術を最大限に活かすため体系化されたものが技術経営(MOT)であり、技術系大企業のみならず、独自技術に基づく固有の製品を武器にして生き残って行かなければならない中小ベンチャー企業においても必要な経営手法です。

技術を競争の基軸とする企業にとっては、MOTの目的を達成して行くため、自社に適合した「事業－技術開発－知財からなる三位一体の技術経営戦略」を問い直し、それを自社にとって最も有利な経営方針と施策に反映させていくことが必要となっています。

また、ヒット商品の創出を実現していくためには、従来の延長線上に無い着想に基づく開発テーマの発掘と新たな要素技術の探索と確立が必須となっています。それを実現していくための手法の一つが「オープン・イノベーション」です。今や大企業でも自前主義を捨て去り、オープン・イノベーション活動を通じて、外部の研究成果や異業種や中小ベンチャー企業の得意技術を吸い上げ、自社技術と融合して新たな技術革新に繋げるという開発手法が主流になってきております。

今回の勉強会では、日常、中小ベンチャー企業向けの技術コンサルティングや知財業務の現場で苦闘されている技術士や弁理士等の士業専門家の皆様と共に、MOT戦略の基本形やオープン・イノベーションの動向を勉強した上で、如何にして「売れる新製品の開発」を具現化して行くべきか、その実践的手法を探っていきたいと思っております。

以上